



### 産後ドゥーラ派遣事業で家事支援を

川畑 京子議員

問 産後の家事支援が行える産後ドゥーラ派遣事業を導入しては。

答 悩みを一人で抱え孤立することがないよう、きめ細かなケアを継続しながら支援していくとともに、市民のニーズを踏まえ産後ドゥーラ支援事業についても研究する。

### ※デフリンピックで共生社会の推進を

問 今後の啓発活動は。障がいのある人もない人も一緒に楽しんで交流できるよう、企画内容を検討していく。

### 発達性ディスレクシアへの支援

問 学校での合理的配慮の周知は。

答 発達性読み書き障害（ディスレクシア）への正しい理解を深めるとともに、合理的配慮が

必要だという理解を深めるよう取り組んでいく。

### ダンスの練習環境の整備を

問 練習で使用する移動式の鏡の導入は。  
答 移動式の鏡などを導入することにより、施設利用の幅が広がり、利用ニーズに沿った施設運営が促進することと考える。今後より多くの市民に利用してもらえよう、環境整備を進めていく。



サークルでのダンスの様子

問 トナリエふじみ野の空き店舗を活用した市役所出張所の開設を。

答 新たな施設を設置するのではなく、マイナンバーカードを利用した各種行政手続における電子申請を含め、サービスの提供の方法を検討する。

問 市役所に出向く申請はどのように考えるのか。

答 本庁、支所、出張所への移動手段について、市内循環ワゴンやお出かけサポートタクシーなどでサポートしていると考える。

### 公園でボール遊びができる環境整備を

問 こどもの未来を育む条例の制定過程において、子ども達から出された意見や要望の反映を。

答 子ども達の意見や要



### 大井苗間地域に市役所出張所の開設

床井 紀範議員



望を踏まえ、令和5年度には一つの公園をモデルケースとして、子ども達と地域住民が公園のボール遊びについてのワークショップを予定している。子ども達が地域住民と意見を交わし考えることにより、子どもの意見表明及び社会参加を促進するとともに、子ども達の願いを実現していきたい。

子ども達の意見や要望を反映する。

問 車がすれ違える部分の拡幅と緊急車両などが曲がり易いように角の隅切りを。

答 財源枠としては、道路橋りよう新設改良事業に隅切等用地取得費の予算を計上している。引き続き、待避所や隅切り用地の必要性を丁寧に説明し、協力してもらえよう努めていく。



### 隣接地買取り支援制度を

問 宅地規模の適正化と

### 若年層の流出対策としての家賃補助制度を

問 少子化の中、若年層流出対策として家賃補助制度を検討できないか。  
答 子育て世代への家賃補助制度としては、県内では3市町での実施にとどまっている。暮らしの利便さや働きやすい環境が、将来に向けての定住人口の確保につながる。

### 物価高騰対策



問 水道料金と下水道使用料減免の再度の実施を。

答 1、2月分の減免は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した。上下水道事業運営の観点から、再度の実施は難しい。

### 奨学金貸付制度の復活

問 現行の利子補給制度では負担が軽減されない。平成30年度まで実施していた奨学金貸付制度の復活を。

答 国の奨学金制度の補完政策として、市としては利子補給を実施している。

### 特別支援学校高等部の受け入れ

問 県の受け入れ状況は。  
答 令和4年度、特別支援学校高等部等に1143名の受け入れがある。

問 子ども達が安心して通える施設が必要となった場合は、県に新設の働きかけを。  
答 進学を希望する市内の生徒が進学先に困らないように、県に対し働きかける。

進学を希望する市内の生徒が進学先に困らないように、県に対し働きかける。



問 学校給食は教育の環境である。県内で完全無償化しているのは6自治体ある。多子世帯減免や期間限定で無償にしては。  
答 食材費の高騰分は公費で負担している。学校給食を適正に維持していくことが教育委員会の責任と考えている。そのために、食材費の保護者負担をお願いしていきたい。無償化の先行自治体でのエピソードがある。校長先生が食べ残しの問題を考えさせようとしたと

ころ、「だって、この給食タダでしょ」という話が出たことにショックを受けたという。保護者から貴重な給食費を頂いているのだから、感謝の気持ちを育てていきたい。  
問 タクシー会社に要望しているが難しい状況だ。  
答 市内循環ワゴンの運賃補助  
問 妊産婦や高齢者にも補助を。  
答 新年度からの運行計画見直しにおいて、今後の人口減少化を鑑み、持続可能な公共交通を目指す観点から現状維持の方針を決定した。

問 用具等を保管するロッカーの設置状況は。  
答 現在、総合体育館に月極のロッカーを8台設置している。今後については、令和5年度に駒林体育館の大規模改修工事設計業務を計画していることから、その中で月極のロッカーの設置などを含め、1日貸しの基準なども含め利用者の意見を集約し、順次ロッカーを設置していきたい。  
問 各団体が使用する施設等は確保できているか。  
答 現在、土日祝日の全時間帯、平日の夜間において予約が取りづらい状況がある。今後、団体・個人などの定義の見直しを含め、利用者意見を聴取し計画的に改善していきたい。

問 歩道幅員が確保できないよう信号機移設を県警と協議する。また、歩行者の待機場所を設置するなど交通安全対策を進める。  
問 公園西側に歩道の設置を。  
答 ふじみ野市都市交通マスタープランにおいて、第2次優先整備路線として位置付けられている。今後市内の優先道路の整備状況を鑑み、歩道整備など安全対策を進める。



水天宮交差点付近の歩道